

〈報 告〉

## 第4回 上田女子短期大学 観光文化研究大会

(付) 一茶の方言研究の現状と課題

大 橋 敦 夫

今年で第4回目となった上田女子短期大学観光文化研究大会の開催要項は、以下のとおりである。

開催日時：平成17年7月2日(土) 13時～16時

主 催：上田女子短期大学附属観光文化研究所

代表：所長 松田 幸子 (学長)

後 援：長野県教育委員会・上田市教育委員会

上田市・信濃町・上田観光コンベンション協会

信濃毎日新聞社・NBS長野放送

開催場所：上田女子短期大学 北野講堂

主 題：一茶をめぐる

内 容：1. セレモニー

2. 基調講演 (1)「一茶と信濃町のかかわり」

(各40分) 中村 敦子氏 (一茶記念館学芸員)

(2)「一茶の生涯と文学」

小林計一郎氏 (長野郷土史研究会会長)

(3)「一茶の方言雑集をめぐる」

馬瀬 良雄氏 (信州大学名誉教授)

3. 対 論 「一茶をめぐる～地域振興の視点から～」

進行役 大橋 敦夫 (上田女子短期大学教授)

#### 4. 質疑応答

#### 5. 閉 会

本学学生および教職員はもとより、観光行政関係者・観光協会関係者・観光ボランティア関係者・観光関連産業関係者・観光文化関係研究者・文学研究者・俳句愛好者・一般市民の方々に参加を募り、講演・対論に熱心に聞き入った。

### 一茶の方言研究の現状と課題

小林一茶が俚言を句の中に用いたという点については、これまでもさまざまに考察されてきた。

そのうち、句の評釈については、つとに、川島つゆ氏のものがまとまったものと評価されている。

『方言雑集』については、近年、翠川 渡氏・馬瀬良雄氏によって取り上げられ、精力的に精査されている。また、川村喬一・川村良江の両氏によって、現在の信濃町の方言との関係も触れられるようになっている。

今後は、一茶の人間像との関係も絡めた「一茶の方言研究」に関する意義付けなどの深まりを期待したい。

### ◆一茶の方言関係研究文献目録

#### ◇テキスト類

信濃教育会編『方言雑集』一茶叢書第二編 古今書院 1926

信濃教育会編『一茶全集 第七巻』「方言雑集」小林計一郎・丸山一彦校注

信濃毎日新聞社 1977.12

矢羽勝幸編『信州向源寺 一茶新資料集』「いろは別雑録」信濃毎日新聞社 1986.11

川村喬一・『一茶の信濃方言と江戸語 (信濃町・富が原集落の方言・第4集)』

川村良江 私家版 (信濃町) 59p.

2004. 9

◇研究論文等

- 勝峯 晋風 「一茶と方言」『黄橙』 1916. 2
- 林 寂海 「一茶の方言連句」『黄橙』 1916. 5
- 刊行委員 「続刊方言集」『信濃教育』476 4p. 1916. 6
- 刊行委員 「方言雑集に就て」『信濃教育』479 5p. 1916. 9
- 小宮 豊隆 「一茶と方言」『信濃教育』485 1p. 1927. 3
- 川島 つゆ 「方言連句短評」『一茶の種々相』春秋社 p.200-218 1928. 7
- 穎原 退蔵 「一茶の句と方言」『科野』1-11 3p. 1946.11
- 茂木 住七 「『七番日記』に表われた俗語考」『信濃教育』 1957.10
- 栗林 農夫 「一茶の時代背景と方言について  
 ー特に「おらが春」の句の誤解についてー」『科野』 1959.11
- 青木千代吉 「信州の方言(9) 形態の変化；俳人一茶の感覚」  
 信濃毎日新聞社 1963.2.16
- 二沢久昭・ 「一茶と方言」『長野』10 1966.10
- 滝沢貞夫 \*矢羽勝幸編『一茶の総合研究』(信濃毎日新聞社 1987.11) 所収
- 川島 つゆ 「一茶の方言連句について」『国文学研究』2 1966.11
- 二沢 久昭 「『春の巻俳諧』 ー一茶の方言連句について」『俳句とエッセイ』  
 1976.11
- 柳沢 国雄 「一茶と方言」『長野』70 1976.11
- 翠川 渡 「一茶「方言雑集」補注」『長野』154 1990.11
- 翠川 渡 「一茶「方言雑集」補注2」『長野』166 1992.11
- 馬瀬 良雄 「長野県方言研究史(1)」『長野県方言関係研究文献目録(抄)』  
 (上田女子短期大学 国語研究倶楽部) 2002. 3

**【参考文献】**

- 小林計一郎『俳人一茶』長野郷土史会研究会（長野市） 1961. 4
- 小林計一郎『小林一茶』吉川弘文館 1961.10
- 小林計一郎『一茶 ―その生涯と文学』信濃毎日新聞社 2002.10
- 矢羽 勝幸『一茶大事典』大修館書店 1993. 7
- 松尾靖秋・金子兜太・矢羽勝幸『一茶事典』おうふう 1995. 5